

事務事業名 雲南都市計画事業 丸子山周辺土地区画整理事業		所属部 建設部	所属課 都市計画課
総合計画体系	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G 都市計画グループ	課長名 嘉本 俊一
	施策名 (09)都市・住まいづくりと土地利用の推進	担当者名 保科 浩二	電話番号 0854-40-1064 (内線) 3746
	目的:対象 市内全域	予算科目 会計 3 5 1 0 0 1 0 5 1 0	大事業名 沿道区画整理型街路事業
	基本事業名 (027)中核拠点ゾーンの整備促進		中事業名 沿道区画整理型街路事業(委託、単独)
目的:対象 中核拠点ゾーン	意図 有効かつ効果的に利用・整備する。		
	意図 都市機能拠点を整備する。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
都市計画道路等の幹線道路の整備に併せ、公共施設管理者負担金制度を活用した土地区画整理事業を実施し、周辺地域と併せた良好な住宅市街地を形成するための土地利用の増進を図ることを目的とする。平成22年度予算までは、一般会計予算で、平成23年度予算より公管金導入により、特別会計予算での執行となった。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) L型擁壁 106m 取壊し工 1式	28年度計画(28年度に計画する主な活動) L型擁壁 26m 宅地造成 14区画 土留め工 1式				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 区画道路築造(84m)	m	84	0	0	0
	イ 建物移転(21戸)	戸	3	8	1	0
	ウ 宅地整地等(11810㎡)	㎡	3,527	0	1,070	5,311
	エ 調査設計(設計・換地)	式	1	0	0	0

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	幹線道路(都市計画道路)事業区域	ア 道路延長(84m)	m	84	84	84	84
		イ 事業実施区域	ha	2	2	2	2
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
幹線道路(都市計画道路)が整備される。区画整理された良好な宅地が整備される。	ア 道路整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ 事業費実施率	%	38.0	65.0	85.0	90.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
工事費 51,448千円 補償費 357,101千円 事務費 517千円 合計 409,066千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	74,753	478,929	403,370	96,000
		地方債	千円				
		その他	千円	8,414	4,619	5,696	9,936
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	83,167	483,548	409,066	105,936
		正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	250	150	150		
	人件費計(B)	千円	973	583	587		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	84,140	484,131	409,653		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
(都)新庄飯田線の早期全線開通を望む住民意見が多くてきた。	特になし	地権者から早期に事業を完成し、事業効果をあげてほしい旨の要望がある。

事務事業名	雲南都市計画事業 丸子山周辺土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	島根県事業と一体的に整備し、円滑な事業推進を図るため、これ以上の向上余地はない。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	都市計画決定された事業であるので、地権者の権利を制限しており、休止・中止は大きな影響がある。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業なし																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	コスト削減に努めており、これ以上の削減余地はない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の人員で対応している。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益の度合いにより精算金により処理を行う。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
H29年度事業完了を目標に事業を推進する。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								

3 今後の方向性【PLAN】